

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	①町内会に加入している。近隣の小学生の体験学習の受入れや近隣の行事等に参加し交流を図っている。 ②地域住民を対象としてホームヘルパーの講座を行っている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	①2か月に一度、町役場の職員も参加し、定期的に運営推進会議が開催されている。 ②会議内で出された意見に対して回想法等の勉強会を開催している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	①利用者の権利擁護等について市と連携を密にしている。 ②市町村主催の勉強会や行事に参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	②家族へは来所持に状況を報告し、いつでも要望を聴き改善する仕組みがある。 ③ホーム便りを定期的に2か月に一度発行している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域住民との交流の中で小学生の体験学習を実施している。運営推進会議が、地域住民や行政関係者が参加し定期的に開催されている。また、代表者が社会福祉士でもあり、利用者の権利擁護にも深く関わり、市とも密に連携を取っている。また、利用者や家族の満足度をあげる為に日々意見や要望を吸い上げる仕組みがある。

- 外部評価軽減要件
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
 - 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
 - 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。
- 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。